

稲発酵粗飼料の調製技術

—新しい乳酸菌とロールベアラによるサイレージ調製—

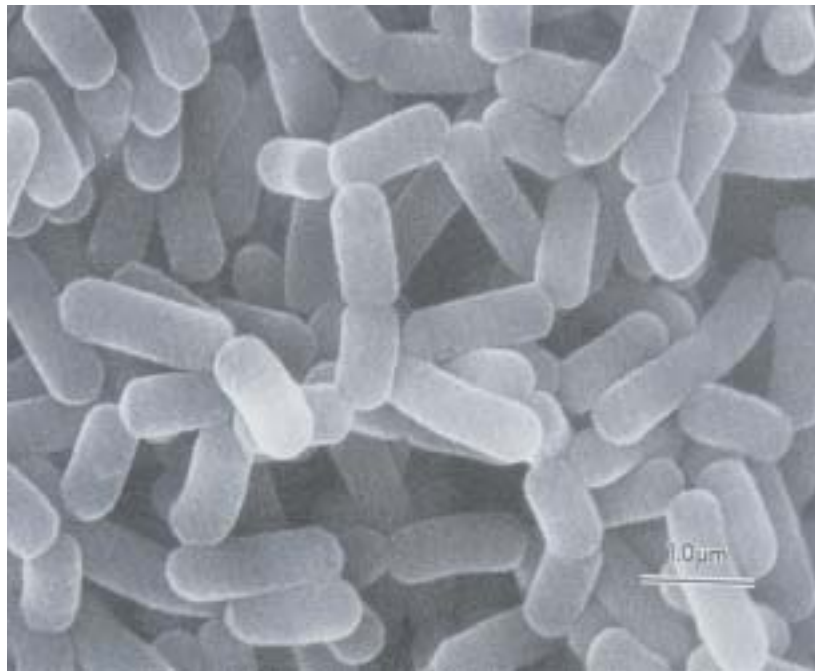


独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
農林水産省 農林水産技術会議事務局

○新開発乳酸菌の利用

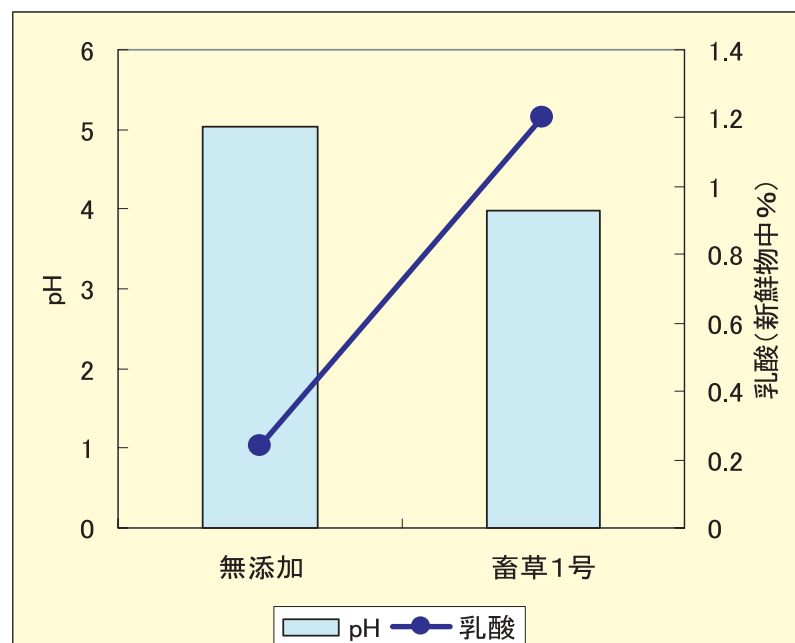
稲発酵粗飼料用に開発

イネには付着する乳酸菌が少ないため、乳酸発酵しにくいという欠点がありました。そこで、稲発酵粗飼料（イネWCS）調製用の乳酸菌「畜草1号」を開発しました。この菌は、ホモ発酵型で、耐酸性が強く、イネWCSの調製過程において乳酸発酵が旺盛に行われます。



高品質サイレージ調製が可能に

「畜草1号」を添加すると、乳酸の生成量が多くなるため、pHが4.0まで低下し、牛の嗜好性の良い高品質なイネWCSが調製できます。「畜草1号」は天候不順や適期収穫が難しい場合など、これまで高品質調製が難しかった条件でも、高品質サイレージの調製を可能にする頼もしい添加物です。



○長期貯蔵に有効

1年貯蔵しても大丈夫

「畜草1号」を添加した飼料イネのロールベールサイレージは発酵品質が良好で、カビの発生が抑えられるため、1年間の長期貯蔵が可能です。



使いやすい粉末製剤

「畜草1号」を誰でも簡単に使えるように、凍結乾燥製剤（平成15年6月発売予定）にしました。この製剤は水溶性の粉末で、低温保存により菌の活性を高いままに保てます。原物1tあたり5gの添加で高品質のサイレージを作ることができます。



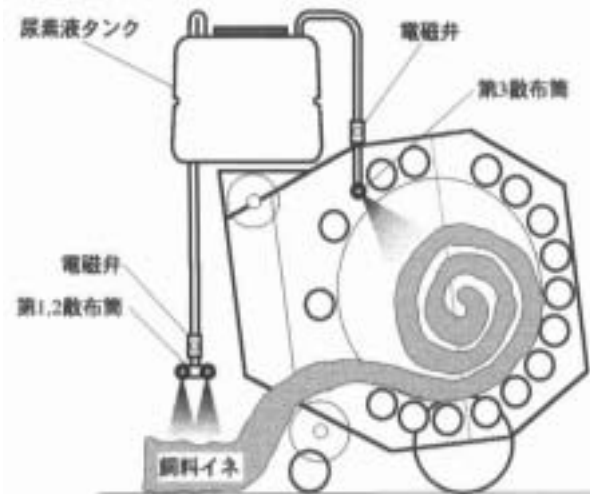
写真1. 畜草1号製剤の凍結乾燥粉末

○低コストな尿素添加方式

添加も容易

新たに開発したロールベア積載型連続添加装置を用いて飼料イネを尿素処理すれば、アンモニア処理した場合よりも、作業時間と処理費用は少なくなります。

尿素添加サイレージはカビの発生を抑えるとともに、栄養価と牛の嗜好性が向上します。



問い合わせ先

「畜草1号」について

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
畜産草地研究所

〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松768

TEL: 0287-36-0111 E-mail: cai@affrc.go.jp

「尿素処理」について

埼玉県農林総合研究センター畜産支所

TEL: 048-536-0311

〒360-0102 埼玉県大里郡江南町須賀広784

TEL: 048-536-0311 E-mail: a0123833@pref.saitama.jp